

自然再生への取組み

北海道森林管理局では、自然再生や生物多様性の保全に取り組む NPO、森林環境教育に取り組む教育関係者などへの支援を強化するため、平成 16 年度に札幌市、北見市、釧路市、函館市の 4 箇所に「森林環境保全ふれあいセンター」を設置しました。各センターは、それぞれの地域で NPO や森林ボランティア団体などの皆さんと連携し、自然再生事業をはじめとする様々な取組みを進めています。

「野幌プロジェクト」の推進

石狩地域森林環境保全ふれあいセンター（札幌市）では、平成 16 年の台風により大きな風倒被害を受けた野幌国有林において、自然林を再生させる「野幌プロジェクト」を推進しています。

平成 20 年度には、主に下記の取組みを行いました。

一般公募の市民の皆さん約 70 名の参加を得て、郷土樹種を育てるための下刈り作業と生育調査を 10 日間行いました。

石狩森林管理署と森づくり協定を結んでいる 12 の NPO、企業などが自主的に行う「団体型森林づくり」を支援しました。

森づくりの経験をすでにお持ちの市民の皆さん約 20 名が、森づくりにかわる経験と知識をさらに深める「野幌森林づくり塾」を 3 回（7、8、10 月）開催しました。

また、学識経験者などによるフォローアップ委員会や自然環境モニタリング検討会を設置し、プロジェクトを進める上での課題の検討や森林生態系の回復状況を把握するための動物調査なども実施しています。



下刈り作業の様子



モニタリング検討委員による現地調査の様子

実施場所：江別市（石狩森林管理署管内野幌国有林）

オホーツクの森における自然再生

^{ところがわ}常呂川森林環境保全ふれあいセンター（北見市）では、オホーツク海に注ぐ1級河川常呂川の中流域にある「オホーツクの森」の一部において針葉樹人工林を広葉樹も含む多様性に富んだ森林に転換するため、地元自治体、ボランティア団体の皆さんらとともに「オホーツクの森自然再生モデル事業企画運営協議会」を平成17年に設立し、市民の皆さんなどとの協働による多様性のある森林への再生や森林環境教育などの推進について検討しています。

平成20年度には、市民の皆さんとカミネッコンによる植樹をはじめとした森づくり体験や、学校などに対し森林環境教育を行うとともに、各種イベントなどにおいて森林再生の取組みについてPRを行いました。



カミネッコン作りの様子



小学校の森林環境教育の様子

実施場所：北見市（^{あばしり}網走中部森林管理署管内オホーツクの森）

らいべつ

雷別地区における自然再生

釧路湿原森林環境保全ふれあいセンター（釧路市）では、釧路湿原の上流にある雷別地区のトドマツの立枯れ箇所を、広葉樹を主体とする森林へと再生することとし、平成 16 年に、学識経験者とともに「雷別地区自然再生推進モデル事業検討会」を設置し、森林再生やモニタリングの方法などについて検討してきました。

この検討内容は、釧路湿原自然再生協議会（個人・団体など 130 名余で構成）において進められており、市民の皆さんに植樹方法などを学んでもらう自然再生学習会の開催や、自然再生事業に継続的に関わっていただくボランティアの皆さんを募集し、各種調査や勉強会などを行い森林再生の取組みについて PR を行いました。

また、森林を再生するための天然更新や植栽などの試行実験を実施しています。



自然再生学習会の様子



ボランティアの皆さんによる防鹿柵設置作業の様子

実施場所：^{しべちゃ}標茶町（根釧西部森林管理署管内雷別国有林）

多様性のある森林への転換

駒ヶ岳・大沼^{おおぬま}森林環境保全ふれあいセンター（函館市）では、大沼国定公園エリアにある吉野山国有林の針葉樹人工林を広葉樹を含む多様性に富んだ森林に転換するため、市民や NPO の皆さんとともに「大沼地域自然再生検討委員会」を設置し、森林再生やモニタリングの方法などを検討しています。

平成 20 年度には、その結果を踏まえ、市民、ボランティア団体、国内外の学生の皆さんと広葉樹の植樹や下草刈りなどを行うことにより、森林再生に取り組みました。



ボランティアによる下草刈りの様子



森林作業に参加した国内外の学生

実施場所：七飯町^{ななえ}（^{おしま}渡島森林管理署管内吉野山国有林）

知床世界自然遺産の保全と管理

知床半島は平成 17 年 7 月に世界自然遺産に登録されました。登録地域の陸域の 95%が国有林であることから、北海道森林管理局では、世界遺産としての価値が将来にわたって維持されるよう、環境省、北海道、地元町などと連携し、取組みを進めています。

「知床^{とわ}永久^{もり}の森林づくり協議会」による国民参加の森林づくり活動の推進

知床世界自然遺産地域においては、来訪者の増加による特定地域の過剰利用やエゾシカの食害による森林への悪影響が懸念されています。

このため、森林と人との関わりを実践的に学ぶ環境教育の場として、また、森林ボランティア活動に関する打ち合わせや研修、意見交換、情報発信の場として、斜里^{しやり}町ウトロ地区に「知床ボランティア活動施設」を平成 20 年 5 月にオープンしました。この施設は、平成 19 年 7 月に設置したボランティア団体、教育機関、企業等で構成する「知床永久の森林づくり協議会」やNPOなどの活動拠点となっています。

この「知床永久の森林づくり協議会」では、国民参加の森林づくりを一層促進するため、「知床における国民参加の森林づくり活動等の推進に関するビジョン」を策定し、今後の国民参加の森林づくり活動等の具体的方策について検討しました。

また、平成 20 年 9 月には、北海道森林管理局・北海道共催の「育樹祭」と併せた企画として、東京農業大学オホーツクキャンパスでの「森林講座」、旭山動物園での「動物講座」を組み合わせた「森林づくり体験ツアー」を、関東圏在住の 17 名の参加を得て実施しました。

さらに、協議会の活動成果を全国に発信するため、ホームページを開設し、情報発信を通じて国民参加の森林づくりの一層の促進を図りました。



知床ボランティア活動施設の外観



ツアー参加者記念写真

実施場所：斜里町（知床森林センター）

生物多様性保全に向けた取組み

北海道森林管理局では、国有林における生物多様性保全の取組みを推進するため、平成 19 年 3 月に学識経験者からなる「生物多様性検討委員会」を設置し、平成 20 年 2 月に報告書を取りまとめました。

平成 20 年度は、「にしんの森再生プロジェクト」(留萌南部森林管理署管内)においては、河川を通じて漁場に影響を与える森林を、にしんの大群が押し寄せていた頃の状態に再生するため、笹生地への多様な樹種の植え込み方法などを検討しました。

このほか、「北限のブナ復元プロジェクト」(後志森林管理署管内)においても、調査手法や調査項目を検討し、植生回復に向け取り組みました。

にしんの森再生プロジェクトの推進

北海道の日本海沿岸部は、かつて、にしん漁で栄えた歴史があり、地域に残るにしん番屋が今も当時の隆盛を伝えています。

留萌南部森林管理署(留萌市)では、この地域の文化ともいえる「にしん」をシンボルとして、日本海に注ぐ河川の源流部の森林を、にしんの大群が押し寄せていた頃の豊かな状態に再生するため、平成 19 年度より、「にしんの森再生プロジェクト」を実施しています。

プロジェクトでは、対象地区を 3 箇所設定し、森林を再生するための調査方法や、事業手法を検討したほか、「協働の森づくり 2008」を開催し、地域住民の皆さん約 70 名の参加を得て、プロジェクトの普及啓発と地域への定着を図りました。



にしんの森再生プロジェクト委員会
による現地検討の様子



協働の森づくり 2008 記念写真

実施場所：増毛町(留萌南部森林管理署管内信砂国有林)

希少種ハンドブックの作成

現在、生物多様性の保全等森林に対する国民の皆さんの関心が高まっており、北海道各地に生息、生育している希少野生動植物への配慮が一層必要となっています。

こうした状況を踏まえ、北海道森林管理局では、北海道の国有林に生息、生育する希少野生動植物の詳細を記載し、作業現場でも携行可能なハンドブックを作成しました。

各職員が日常的に希少野生動植物の把握に努めたり、また得られた情報の共有化を図ることにより、各種事業の計画や事業を実施する際などに活用することとしています。



希少種ハンドブックの概要

環境行政との連携

北海道森林管理局及び各森林管理（支）署では、国有林内の優れた自然環境を保全するため、環境省北海道地方環境事務所や北海道と定期的に意見交換するとともに、国立公園に指定されている国有林の巡視を合同で行っています。

おおひらやま 大平山における多様な森林生態系の保全

大平山には、オオヒラウスユキソウなど石灰岩地域に特有の植物が多数生育していますが、近年、登山者による踏み荒らしや盗掘などの問題が発生しています。

このため大平山を管理する後志森林管理署（倶知安町）では、環境省北海道地方環境事務所、北海道などの関係行政機関と地元 NPO の皆さんからなる「大平山高山植物保護対策協議会」を設置し、高山植物の保護活動に取り組んでいます。

平成 20 年度は、グリーン・サポート・スタッフによるパトロールを行ったほか、協議会のメンバーによる高山植物の盗掘などを防ぐためのパトロールや登山ルートへの修復、盗掘防止や植生の保護を呼びかける看板の設置、普及啓発用パンフレットの登山者への配布などを行いました。



看板設置の様子

実施場所：しままき
島牧村（後志森林管理署管内大平国有林）